

様々な音楽活動を通して地域文化の 伝承保存や高齢者支援に活躍。

みやざき しんや
宮崎 眞也さん 大分県 84歳



30年以上受け継がれてきた「蛇谷太鼓」。

大分県国東市の武蔵西小
学校で30年以上にわたって継
承されている「蛇谷（じやだ
に）太鼓」は、昭和58年、当時
同校に勤務していた宮崎眞也
さんが、同僚の田城拡さん、中
野悦郎さんらと、地域の昔話
と方言を採話・編集した「武
蔵の昔話」をもとに作ったも
のです。

宮崎さんは、毎年武蔵西小
学校を訪ね「蛇谷太鼓」を指
導。子供同士が教え合う仕組
みを作り、上級生が下級生に

引き継いでいくことで、絶え
ることなく伝えられてきまし
た。毎年、学年末には引き継

ぎ式があり、保護者や地域の
人々が見守る中、卒業する6
年生が蛇谷伝説の研究発表を
して最後の演奏を披露。太鼓
のバチを5年生に渡し、衣装
を着せ、今度は5年生が引き
継いだ衣装と太鼓のバチを使
い演奏を披露します。

音楽ボランティア活動 を生涯実践。

教職中に大学の通信教育で
社会福祉学を学んだ宮崎さん
は、高齢者福祉活動の必要性
とその精神を学び、退職後は
音楽ボランティア活動を実践
してきました。

音楽ボランティア活動の始
まりは、退職直後から始めた
地域の小学校での管楽器の分
解掃除や調整、修理でしたが、
その後活動は幅広い分野に広
がります。

在職中から続いていた「蛇
谷太鼓」の指導を始めとして、

武蔵町の女声コーラスや、国
東太鼓、武蔵太鼓の指導、「オ
ーケストラくにさき」の編成
等。特に、「蛇谷太鼓」と並ぶ、
もう一つの民話伝承活動とし
て、田城拡さんを語り部とし
た昔話の口演には力を入れて
おり、少人数の楽団を率いて
手作りコンサート巡回公演
を行っています。

また、高齢者福祉の支援と
して、市内の高齢者学級や老
人クラブ、福祉施設、病院など
で「回想法による音楽療法活
動」を実践。昔歌ったことのあ
る童謡、懐メロを大きい声で
歌うことで、肺の活性化と歌
詞による言葉のリハビリ効果
を得ると共に、カスタネット
やタンバリンなどで、指先や手
先を動かし緊張感を緩和し、
協調性を引き出し、老化防止
の効果をおげています。

世界の音楽も国東の古
い音楽も。

世界各地の民族楽器の収集
にも興味を持ち、「音蔵」とい
う施設の楽器博物館を運営す
る宮崎さん。

「これからは、古代楽器や民
族楽器の指導もしていきたい
です。消え去ろうとする国
東地方のわらべうた、民謡、昔
の校歌などを集め採譜・保存
するとともに、福祉活動の資
料として活用したいです。ま
た、高齢者の回想法による音
楽療法も進めていきたい」と
意欲を示します。

